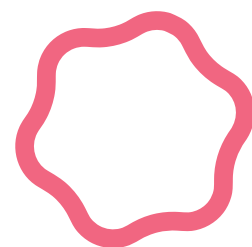


hgu_LAB. MAGAZINE

Feb 2022

vol.

012



SHOOTER

Nonoka Kasai



HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY

Sweet are the uses of adversity.

from “As You Like It” by William Shakespeare

Nonoka Kasai

葛西 ののか

北海学園大学 経営学部 2 部
経営学科 3 年
北海道科学大学高等学校出身

札幌市生まれ。高校時代に射撃部に入り、エアライフル競技の楽しさに魅了された。本学進学後も「ライフル射撃部」に所属し、1年次には埼玉県で開催された「全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第32回女子総合」に出場。好きな言葉はシェイクスピア作『お気に召すまま』より、「逆境が人に与えるものこそ美しい (Sweet are the uses of adversity)」。競技中に思うようにいかないとき、考え次第でよい状況に転じられると自らに声をかけるという。



ど真ん中を撃ち抜くと10.9点。 すごくうれしいです。

「狙い撃つ」と「撃つ」。似ているようでいて、大きな違いがあります。
それはもちろん、「狙う」というプロセスがあるかどうかの差。
「狙う」ためには、経験値、思考力、そしてメンタルが欠かせないはずです。
今回の主人公は、射撃競技に取り組んでいる葛西さん。でも、射撃をやっていないくても、
狙い撃ちたいものはいろいろとありますよね。将来の夢とか、誰かの心とか。
そしてそれらは、逆境を乗り越えるほど、価値が、意味が、やりがいがある。
葛西さんは、何を狙ってきたのか、何を狙おうとしているのか。お話を聞きました。

普通じゃない＝やりたい

——まず、葛西さんが所属している「ライフル射撃部」について教えてください。
部員数は年によって変わりますが、全学年で20～30人ほどです。主な活動場所は、札幌市内でライフル射撃ができる「北海きたえーる」と「宮の沢屋内競技場」で、両方を合わせて週1回ぐらいの活動ペースです。道内では大学生が出場できる大会が年に4回あり、それに向けてスキルアップをめざしています。

——葛西さんと射撃との出会いは？
中学校3年生のとき、進学先の高校をどこにしようと考えていたら、家から近い高校に射撃部があるというのを友だちから聞いたんです。射撃部って、普通はないですよね。その普通じゃない感じに興味をもって、やってみたいと思ってしまいました(笑)。近所なので通いやすいのもいいなと(笑)

——ちなみに中学まではどんなことを？
小学生のころは水泳と書道を習っていて、中学校では剣道部でした。剣道って、部活以外ではやる機会がないですよ。それでやってみたいと思って。射撃もそうですけど、珍しいものが好きみたいです(笑)

——札幌市内の高校で射撃部があるのは？
北海道内でも私がいた高校だけだと思います。ピストルをやっているところはあるかもしれませんが、私はエアライフルなので。

——射撃といってもいろんな種目があるわけですね？
そうですね。大きく分けるとライフル射撃、ピストル射撃。私はライフル射撃のなかでも空気の方で

弾を撃つエアライフルをやっていて、もちろん火薬を使うライフルの競技もあります。

——なるほど。エアライフル競技をやっている高校が道内で1校だけということは、いきなり全国大会に？
そうです(笑)。私も出ました。基準点というのがあって、それを超えたら出場できる感じで。全国大会はやはり雰囲気もレベルも全然違いました。

1時間15分、60発

——「基準点」という専門的な言葉が出てきたので、ここで一度、エアライフル射撃のルールなどを確認しておきたいのですが、教えてもらっていいですか。
射撃の姿勢は、立って撃つ「立射」、片膝を立てて座り、その上に肘を乗せて撃つ「膝射」、うつ伏せになって撃つ「伏射」の3つがあり、エアライフルは立射で行います。10m離れた位置にある標的に、1時間15分以内で60発撃ち、その合計点数を競う感じですね。

——日本ライフル射撃協会のウェブサイトによれば、満点が「654点」という中途半端な数字ですね。
1発の最高得点が「10.9点」なんです。なので60発すべて10.9点だと654点になります。

——10.9点というのもこれまた不思議な数字ですが。標的は丸型で、外側から中心に向かって1点、2点、3点と上がっていき、中心部分が10点なのですが、10点のなかでもさらに0.1点ずつ、中心からの近さが判定されます。ですので、10.9点というのはきれいにど真ん中を撃ち抜いたということですね。ち

なみに10点台後半の点数を「深い10点」と言ったりもします。

——なるほど！ 映画やドラマに出てくるような人型の標的を勝手にイメージしてしまいました、丸型なんですね。サイズはどのくらい？
直径45.5mmです。(バッグから標的を取り出して)これが10.9点を出したときの標的です。



——思っていたよりも小さい！ そして本当にど真ん中が貫かれていますね。こんな小さいのに小数点第一位まで点数を判定できるんですか。ジャッジは誰が？
人ではなくて、読み取り用の機械があって、それに標的を通すと点数が印字されるんです。

——機械が素早く公平に判定してくれると。葛西さんは60発のうち、どれくらい10.9点を出すんですか？
私のレベルでは出ても1、2回という感じで。そう簡単に出るものではないですね。その分、10.9点を出せたときはすごくうれしいです(笑)

——合計点だとどれぐらいの数字に？
私は580点から600点の間ぐらいです。先ほどの「基準点」というのは、大会によっても違うんですが、私が大学1年生のときに出た全国大会では570点だったはず。予選となる支部大会でそれ以上の点数を記録すれば全国大会に出場できるという感じです。

My Friend

1日2コマ、自由時間たっぷり

——2人で過ごす1日はどんな感じ？
葛西 お昼ごろに札幌駅で待ち合わせて、ぶらぶら歩きながら洋服を見たり…
川村 映画を観たり。それでお腹が空いたらご飯を食べて、授業を受けに行くという流れです(笑)
葛西 2部だと1日に授業が2コマだけだから、自由に使える時間が多いよね。
川村 たしかに1コマ空いてから次の授業ということもない

ので、コンパクトに集中して学べる。日中にアルバイトができるのもいいよね。

——2人はいつもどんな話を？
川村 いまゼミでどんなことしてるの？とか…
葛西 就職どうする？とか、お互いの近況を話したり。あとは好きなアーティストや漫画の話かな。
川村 好きなものがけっこう被ってるんだよね。そもそも雰囲気というか、性格が合うなと思います。
葛西 たしかに、ずっと話してられる(笑)

——残りの学生生活、どのように過ごしましょう。
葛西 わたしは資格取得に力を入れたいです。着物の着付けの資格も取りたい(笑)。とにかく自分のやりたいことに時間を使って充実させたいです。
川村 わたしは夏までには就活を終わらせて、旅行にいっぱい

行きたいです。そういえば2人で沖縄に行きたいって話してたよね。

葛西 そう！ アルバイトを復活させないと(笑)



Shion Kawamura

川村 詩音さん
経営学部 2部
経営学科 3年





吸って、吐いて、狙って

——ちなみに五輪などに出場する選手の点数は？
630点（1発平均10.5点）とかで、私には夢のような数字です。少しでも近づけるようにがんばりたいですが、いちばん大切にしているのは楽しむことです。

——お話を聞くほどやってみたくになります（笑）
おもしろいですよ（笑）。ただ、まずは銃刀法に基づいたエアライフルの所持資格を取得する必要があります。講習を受け、試験に合格すればOKです。私も高校生のときに取りました。ビームライフル（光線銃）だと資格不要で、札幌市内では「北海きたえーる」や「宮の沢屋内競技場」で誰でもチャレンジできますよ。

——気軽にビームライフルから始めるのもいいかもしれませんね。ちなみにエアライフルの所持にはどのようなルールがあるんですか？
銃刀法に基づいて製作されたガンロッカーに保管することが義務づけられています。あと、用途以外使ってはいけないとか。私の場合は競技用として所持しているので、害獣駆除などには使えません。それと、他人に持ってもらうのもダメですね。ロッカーから出したら、肌身離さず自分で持つ必要があります。1つの銃につき1人にしか所持許可が出ないので、別の人が持つと不法所持になってしまうんです。

——「エア」とはいえ、かなりの威力があるからこそ、ルールも厳格なんですね。今回、練習シーンを撮影させてもらった際、見るからに重厚なウェアを着ていましたが、撃ったときの衝撃を緩和するため？
というより、身体を固定して姿勢がブレないようにするためですね。少しでも動く点数が変わってしまい

ますので。揺れない身体づくりのため、体幹トレーニングなども行います。ライフルは5kgほどあるので、安定して支える筋力も必要ですね。あとはルーティン。いろいろありますが、私の場合は最後に深呼吸をして、吐いているときに照準を合わせ、吐き終わって身体が止まったタイミングで撃ちます。

——1時間15分以内に60発を撃ちつづけるためには集中力も大切そうですね。
そうですね。途中で集中が切れてしまったら、水を飲むなどして切り替えます。集中力を鍛えるトレーニングもありますよ。テニスボールを積み重ねるとか。

——テニスボールって積み重なります？（笑）
すごく集中するとボールの上にボールが乗るんですよ（笑）。私は3個重ねるのが限界ですけど。

——射撃を通して鍛えられた集中力は、別の場面で活かされたりしていますか？
羊毛フェルトづくりとか（笑）。もちろん勉強も。すぐに集中モードに入ることができます。

勉強は集中して夜に

——勉強といえば、葛西さんは経営学部の2部（夜間部）に在籍していますね。
はい、経営学部を選んだのは、将来社会へ出た際にどのような企業でも役立つ学びがあると思ったからです。今はマーケティングなどをとても楽しく学ぶことができます。あと、キャンパスが家から近くて射撃部があること。そこは高校選びと同じですね（笑）。そして2部ですが、学費を抑えられるという面と、も

ともと夜のほうが集中できるタイプなので。

——1部との違いは感じますか？
先生方も、学習環境も、在学年数も基本的には同じで、授業時間（17:50～21:00に2コマ）だけが異なるという感じですね。部活も1・2部共通ですし。

——夜間に大学に通うスタイル、実際に体験してみているかがですか？
余裕をもって準備ができて、眠くなることもないので、ちゃんと授業に集中できますね。日中にアルバイトをしていた時期もあります。料理をするのが好きで、夕食をつくってから大学に行くことも。実家なので家族には喜ばれています（笑）

——夜間ということで、社会人向けと思っている方も少なくないようですが。
実際は私のように高校を卒業してすぐに入学している人が大半で、友だちも普通にできます。去年（2020年度）はコロナ禍ということでほとんどオンライン授業でしたが、最近は学校で学ぶ機会も戻ってきて、友だちに会えるのがうれしいですね。

——徐々に日常に戻ることを願うばかりですね。どんなふうに学生生活を締めくくりたいですか？
射撃では1年生のときに全国大会で埼玉に行ったきり、2年生はコロナで大会自体がなく、3年生も各支部の競技場で全国大会を行うという感じでしたので、4年生はぜひ最後に遠征に出たいです。また就職活動も始まるので、経営学部での学びを活かし、自分が進むべき道を決められるようにがんばります。

——10.9点の就職先が見つかるといいですね。
はい、将来の狙いもしっかり定めたいです。

My Favorite Teacher

将来のヒントは、自分の「在庫」の中に

- 大平先生は経営学のなかでも、とくにどのような分野を専門としているのでしょうか。
- 大平 企業経営において、社長は何を考え、どのように行動し、判断しているのか。そのような経営者の役割について、国際比較を行いながら研究しています。たとえばアメリカ的なマネジメントを日本の会社そのまま持ち込んでもうまくいかないことがあるんですよ。1年次の「地域経営者に学ぶ」という科目も、その一環としてもう10年以上取り組んできました。
- 葛西 「地域経営者に学ぶ」はわたしも履修して、とても印象に残っています。毎回異なる社長さんが大学に来て、お話をしてくださるのですが、挫折から這い上がってきた方が多かったイメージですね。
- 大平 そうだね、大きな失敗をしたり、社内で反発を食ったり、気づいたら先代社長の借金を背負わされていたりとか。みなさんそれぞれ、すごい経験をさせてきている。だからこそ、どんな課題をどのように解決してきたのか、その方法を具体的に学生に話してもらうようにしています。
- 葛西 逆境をはね返していく強さみたいなものがすごいと何度も感じました。

- 射撃で逆境に陥ったときはどうしていますか？
- 葛西 低い点数を出してしまったときに、そこから気持ちが折れてズルズルと落ちていってしまうのが嫌なので、自分を上昇気流に乗せられるように考えますね。ここからやってやるぞ、ここから逆転したらカッコいいじゃん、と自分自身に声をかける感じで。
- 大平 それは登壇していただいた経営者のみなさんと通じるところがありますね。自分を俯瞰できるのが素晴らしい。普通は状況に飲み込まれて、訳がわからなくなり、判断できなくなってしまうから。ぼくもどちらかといえばそっちなので羨ましいかぎり（笑）
- そのほか経営者に共通する考え方はありますか？
- 大平 日本人は「みんなのために」ということを教えられて育ちますよね。そうした従業員の善意を利用する悪い経営者もいて、最近は「やりがい搾取」という言われ方もしますが、逆に講義に来てくださる経営者のみなさんは従業員を守り、伸ばすことを大切にしている方ばかり。学生にはそういう視点からも企業を見る目を養い、就職活動に活かしてほしいですね。
- 葛西 わたしはまだ、めざしたい道が曖昧で…。学びのなかではマーケティングに興味があるのですが。
- 大平 興味があるものは、楽しく調べたり勉強したりできるから、自分のなかに蓄積される情報量が自然と増えていくよね。だから、自分が持っている情報量に着目すると、将来が見えてくと思うよ。
- 葛西 んー、でも自分がどんな情報を持っているのか、よくわからないです。
- 大平 企業経営に欠かせない「棚卸し」は聞いたことがあるよね。在庫の数量を確認する作業だけど、それと同じように、自分の「在庫」の箱をどんどん開けて確認してみる。昔から好きなものを考えたり、自分というんな人を比較してみたり、親や友だちに自分のことを聞いてみたり。そうすると溜め込んできたものがどんどん出てきて、

- 気づくことも多いはずだよ。
なるほど、やってみようと思います。
大平 そもそも就職しないといけないの？ということも考えてみるといいかもしれない。
葛西 じつはクラフト小物などをつくるのが好きで、自分で売ってみたいと思っています（笑）
大平 おっ、経営者のタマゴがここに（笑）。そういうことも含めて、自分自身の整理をしないかね。「こっちに行くぞ!」と決めないと、力が入らないから。迷っているのなら、ゼミの先生に相談すればいいし、ほかの先生にも、もちろんぼくにも、気軽に話してみればいいんです。ただし、ライフルで脅して「単位よこせ」みたいなのは勘弁してね（笑）
葛西 脅しません（笑）。いろいろとお話を聞いてみようと思います。



Yoshitaka Ohira

大平 義隆
経営学部
経営学科
教授

My Favorite Place



ぶらぶら歩き、おいしく食べ、美しさに癒やされる小旅行

小樽はとても好きなまちで、高校生のときから友だちとちょくちょく訪れてはぶらぶら歩いています。緊急事態宣言時などは別として、2か月に1回ぐらいは通っている気がしますね。古き良きまち並みが魅力的じゃないですか。歩いているだけで幸せな気分になります。クリスマスの時期はとくに最高ですね。なかでもよく歩くのは堺町通りです。スイーツのお店が多いので、休憩がてらお菓子を食べたりしながら。さきいかの有名なお店もあって、よく買います。ふっくらやわらかで、すごくおいしいですよ。わたしは昔からガラス製品が好きで、小さい置き物やアクセサリなどを集めています。小樽にはガラスのお店がたくさんあるので、来たら必ず数軒を巡ってしまいます。透明感のある色とりどりのガラスがきれいで、とくにピンクやブルー系が好きですね。ゆっくり眺めていると、本当に癒やされますよ。

My Favorite Things



射撃グローブ

Sauer

高校3年生のとき、全国大会の会場で購入したグローブです。銃の先端側を支えるほうの手に着用します。わたしの場合は左手です。銃は重たいので、ずっと素手で支えていると手が痛くなるんですよ。その痛みを緩和するためのアイテムなのですが、表面に付いたパッドの分、支えたときに高さが出るのも、わたしにとってはちょうどいい感じです。指先が出るので、弾などをつかみやすいのもポイントです。両手にグローブをはめる選手もいますが、右手は素手のままのほうがわたしは撃ちやすいですね。



羊毛フェルト

時間があるとき、羊毛フェルトで小さなマスコットをつくっています。下絵のようなものはなしで、頭に浮かんだイメージをかたちにしていく感じです。一度はじめると一気に最後まで、数時間で仕上げます。モチーフはほとんど動物ですね。とにかく動物が好きなんです（笑）



ゲーミングヘッドセット

RAZER

『Apex Legends』というオンラインのシューティングゲームにハマって、より楽しめるように買ったヘッドセットです。軽量なものを選びました。スピーカーだと前後左右のどこから敵が来ているかわからないんですよ。マイクはチームと音声で連携するために使います。



ガラスのイヤリング

小樽のガラス屋さんで買いました。小樽へ遊びに行くたび、目についたガラスさんにはすべて入るので、どこで買ったかは思い出せません（笑）。3つの小さなガラス球の色や模様の組み合わせがお気に入りです。大きなリングもアクセントになっていてかわいいですよ。



流通システムと小売経営

千倉書房

著者である佐藤芳彰先生（2020年度退職）の「流通システム」という科目で使った教科書です。食品、自動車、家電、医薬品、書籍などのメーカーや小売店など、よく知っている企業の流通と販売に関する実例がいろいろと紹介されていて、とても興味深く読みました。



スピーカー

JBL

大好きなバンドSiMが、レッドブルや大学生協とコラボした、ロゴ入りのBluetoothスピーカーです。レッドブルを飲んで応募すると抽選でもらえるという企画で、兄にも協力してもらいながら応募したら見事に当たりました！家で音楽を聴くときはこれを愛用しています。



ポーチ

Can★Do

「うらめしにゃんこ夜行」というキャラクターのポーチです。ユルさに一目惚れました（笑）。ほかにもCan★Doとのコラボアイテムがたくさん出ています。このポーチはリップ専用ですね。付けているキーホルダーは、にしむらゆうじさんの「こねずみ」です。



Tシャツ

SiM

2019年のライブ会場で買った、SiMのTシャツです。札幌の会場で売っていたTシャツだけ誤植があり、SNSで話題に。修正した商品に変えてくれるという案内もあったのですが、レアなほうがうれしいのでそのまま持っています。部活の練習に行くときに着ることが多いですね。



ゼリービーンズ

ダイソー

昔からゼリービーンズが好きなのですが、最近はスーパーなどで見かけなくなってきているような…。そんななかダイソーで発見し、いつもまとめ買いしています（笑）。テレビを見ながら、ゲームをしながら、基本いつでも食べてます（笑）。バナナとイチゴがとくに好きです。